

1. 短期展望 (p. 1)

① [景気は回復、財政は破綻]

日本経済の回復に伴い長期金利が上昇、国債利払いの増大を恐れる財務省は経済統計数字を改竄して景気悪化を演出。個人国債は危険な金融商品に。

② [郵政民営化は断行]

田中派＝橋本派の牙城・郵政をぶっ壊して角福戦争の遺恨晴らし。340兆円の郵貯・簡保を欧米金融資本に開放して徹底した市場原理化を図る小泉首相。

③ [米大統領選：ブッシュ圧勝の勢い]

ブッシュ、ケリー接戦と報じる日本マスコミのトンチンカン。クリントンは「心臓手術」を口実にケリー敗北陣営から逃走、4年後のヒラリーに賭ける。

2. 展望①BRICs 第三世界開発論の意味するもの (p. 3)

米証券金融界の雄、ドイツ系ユダヤ資本ゴールドマン・サックスがタブーだった第三世界開発＝世界資本主義エンジン論を堂々展開。対テロ戦争という新世界状況の中、イスラエルを脅かすアラブ・パレスチナ勢力の無力化が背景に。

3. 展望②国内情勢 (p. 6)

山崎拓首相補佐官が幹事長と防衛庁長官をコントロール。次期総理は安倍晋三氏が有力に。郵政民営化のルーツは福田赳夫＝サッチャー関係にあり。

4. 展望③北朝鮮情勢 (p. 10)

8月17日、金日成総合大と金策工科大で反金正日ビラ撒かれる。米DIA工作の一環か。北京政府も北朝鮮のリビア化＝米軍進駐阻止の為、金正日暗殺敢行か。

5. 展望④米大統領選挙とイラク、対テロ戦争行方

(p. 12)

ケリー陣営は作戦ミスが重なり、ブッシュ再選へ。しかしイラク情勢は悪化の一途をたどり、アフガン、北朝鮮などに米軍は手が廻らない状態に。

6. 展望⑤幻となったプーチン・ロシアのイラク派兵計画

(p. 20)

プーチンとプリマコフによる米露関係を軸としたイラク派兵＝ロシア再建構想が、学校テロ事件発生で水泡に。米露接近を嫌う英米ネオコン勢力が背後に。

TEL 03-3650-1475 FAX 03-3650-7873